

7-4

リスクマネジメント

ご家族とのリスク共有で利用者の生活を支える

リスクマネジメント

利用者リスクの共有

特別養護老人ホーム ひの 日の出紫苑

介護課長 いのうえもりゆき 井上守之

介護主任 いちかわとしゆき 市川俊幸

東京都西多摩郡日の出町大久野231-1

TEL : 042-597-1941

E-mail : hinodesien@outoukai.or.jp

FAX : 042-597-1949

URL : http://www.outoukai.or.jp

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

平成8年、東京都西多摩郡日の出町に開設。法人理念『人と社会に心安まる灯(あかり)をともす』のもと、利用者の安全・快適な生活を援助している。平成19年3月に武蔵村山市にデイサービス、4月には大田区にグループホームを開設。

〈取り組んだ課題〉

転倒などのリスクに対して、介護員・看護師など施設職員だけでなく、家族にも利用者のリスクを把握してもらうことで、施設・家族の共同参画による利用者支援を行う。

- ・ 利用者のリスク抽出
- ・ リスクの共有
- ・ 家族参加による臨時カンファレンス
- ・ 事故・ヒヤリハットの集計評価
- ・ 対応策の周知・共有

〈具体的な取り組み〉

対応策・を講じても職員への周知が徹底できない(職員の入れ替わりなども含め)ため繰り返し事故が発生したり、事故報告書の回覧に時間がかかり必要な情報が関係する部署に行き渡らないなどの問題を改善する。

- ・ パソコン用介護ソフトの活用によって、関係各部署で情報を共有できる仕組みづくり。
- ・ 事故報告書の様式変更

家族を巻き込んでのリスク共有と、利用者の生活を中心にすえた対応策作り

- ・ 対応策に付いて、「事故を起こさせない(転ばせない)ため」ではなく、「利用者が生活しやすくするため」に発想の転換を図る。
- ・ 家族にも利用者のリスク(転倒・誤嚥など)を理解してもらい、必要に応じて臨時のケアカンファレンスを開催し参加していただく。
- ・ 定期的なリスクマネジメント評価

〈活動の成果と評価〉

- ・ 家族が、施設に預ければなしと言う意識ではなくなってきたため、面会の回数や食事介助も含めた利用者とのかかわりが増えた。
- ・ 転倒や急変時などでの家族連絡の際、状態を受け入れやすくなり、家族の側にも「安心した生活」を提供できている。
- ・ 転倒するものという前提での介護となったことで、介護員の精神的負担が軽減された。
- ・ 利用者においても、必要以上に規制されることなく、日々の生活を穏やかに過ごすことができている。

〈今後の課題〉

身体拘束・虐待などとの関連も含め、利用者の生活を中心とした介護、安心で快適な生活の援助という意識を常に持ちながら対応策を考えて行けるよう職員の意識を定着させたい。

〈参考資料など〉